

# 道連ニュース

2026年7月号 No.235

北海道生活協同組合連合会

〒003-0803 札幌市白石区菊水3条4丁目1-3

こくみん共済coop北海道会館内

TEL 011-841-8601 FAX 011-841-8605

URL: <http://www.doren.coop>

## 第70回 通常総会報告



6月25日(木)午後1時よりホテルポールスター札幌にて、第70回通常総会が代議員30名（内訳：実出席14名書面議決16名）のもと開催されました。議長には、寺澤代議員（北大生協）が選出され、冒頭、理事会を代表して中島会長の挨拶ののち、来賓の北海道 高木純一（北海道環境生活部くらし安全局長）様、北海道農業協同組合中央会参事 津村則安様により、ご祝辞を賜りました。



ご来賓挨拶

高木 純一

（北海道環境生活部くらし安全局長）様



ご来賓挨拶

北海道農業協同組合中央会参事  
津村 則安 様

平 専務理事が第5号議案を除き第1号議案～第7号議案まで、紺谷特定監事が第5号議案の提案（下記参照）と監査報告がなされ、すべての議案が承認されました。発言では、「コープさっぽろ米澤代議員より「第1回みんなの読み聞かせ絵本大賞の成功と第2回への展望」について、こども食堂北海道ネットワー

ク事務局長松本さんより「北海道のこども食堂とそれを支える大きな輪」についてほっかいどう若者応援★学生プロジェクト事務局小島さん（北海道教育大学）より「学生がつなぐ、未来へつなぐ。北海道の子ども応援プロジェクト」3件ありました。

最後、中島会長より、第1回理事会報告として、特定監事に甲谷 恵監事が互選されたことの報告がありました。続いて、退任される監事を代表して紺谷特定監事により挨拶がなされました。



コープさっぽろ 米澤代議員

ご発言：テーマ

「第1回みんなの読み聞かせ絵本大賞の成功と第2回への展望について」



こども食堂北海道ネットワーク事務局長  
松本さん

特別報告：テーマ

「北海道のこども食堂とそれを支える大きな輪」



ほっかいどう若者応援★学生プロジェクト事務局  
小島さん（北海道教育大学4年生）

特別報告：テーマ

「学生がつなぐ、未来へつなぐ。北海道の子ども応援プロジェクト」

記

第1号議案「2025年度活動報告承認の件」

第2号議案「2025年度事業報告及び決算関係書類の承認の件」

第3号議案「2026年度活動計画及び予算決定の件」

第4号議案「会費規約一部改定の件」

第5号議案「監事監査規則一部改定の件」

第6号議案「役員報酬決定の件」

第7号議案「役員補充選任の件」



6月9日、京王プラザホテル札幌において2026年度通常総代会を開催しました。総代定数129名に対し、実出席80名、書面議決45名、委任状提出1名の計126名が参加し、すべての議案が承認されました。

2025年度は、中期5か年計画の3年目として、「ローカルSDGs（地域循環共生圏）」の実現に向け、共同購入事業と組合員活動を両輪として取り組みをすすめました。共同購入事業では、一世帯当たりの利用高は前年を上回ったものの、組合員数や利用点数の減少が課題となる中、牛乳・豚肉・米などの利用結集活動や「も～MORE ミルクアクション」を展開し、生産

者を支える利用の拡大に取り組みました。また、生産者交流会や工場見学、学習会などを通じて、生産の現場や消費材の価値を伝える活動をすすめました。

食の分野では、ゲノム編集や遺伝子組み換え食品、食品添加物などをテーマとした学習活動を実施するとともに、GM ナタネ自生調査を継続しました。小樽市や苫小牧市で採取した検体から除草剤耐性のある遺伝子組み換えナタネが確認され、行政への要望活動や情報発信を行うなど、食のあり方や環境問題について考える取り組みをすすめました。また、香害や原発問題など社会的課題についても学習会や署名活動に取り組みました。

地域活動では、展示説明車「あみーか」を活用した地域での拡大活動や、生産者と組合員が交流するイベント、チームラボの取り組み、地域の居場所づくりなどを実施し、人と人とのつながりを広げました。さらに、資源回収や再生可能エネルギーの普及、電気の共同購入などを通じて、環境負荷の少ない持続可能な地域社会づくりにも取り組みました。

総代会では、これらの2025年度活動報告と決算報告のほか、2026年度の活動方針や予算についても確認されました。社会情勢や暮らしを取り巻く環境が大きく変化する中、生活クラブ北海道は「つくる人」と「たべる人」をつなぎ、食・環境・福祉の課題に向き合いながら、共同購入を基盤とした持続可能な地域づくりをすすめていきます。

## 北海道電力生活協同組合

### 組合員の生活の改善・文化的経済的向上を図るため 創意工夫とスピード感をもって新たな価値を創造してまいります。

北海道電力生活協同組合は「2026年度通常総代会」を6月11日(休)札幌ビューホテル大通公園において、総代110名中、108名が出席して開催しました。

議案は①2025年度事業報告、決算報告、監査報告に関する件、②2025年度剰余金処分に関する件、③2026年度事業計画および収支予算に関する件、④



2026年度役員報酬額に関する件、⑤退任役員慰労（記念品）に関する件、⑥利用分量割戻金の全額出資金への振替に関する件、⑦役員選挙に関する件、全7議案を提案・審議し、全議案とも可決承認されました。第7号議案の「役員選挙に関する件」では、理事3名、監事1名の役員交代が承認されました。

2026年度の事業計画については、物価の上昇など、変化の激しい時代でも、創意工夫とスピード感をもって新たな価値を創造し、組合員のニーズにお応えできるよう役職員一同、着実に事業推進に努めていくことを確認し、閉会しました。



## 新旧役員ご挨拶



### 就任のご挨拶

北海道労働者共済生活協同組合  
理事 原山 元志 様

このたび、北海道生活協同組合連合会の理事に就任いたしました、北海道労働者共済生活協同組合（こくみん共済 coop）の原山と申します。

2025年度は、北海道生協連の社会課題への取り組みとして、協同組合ネット北海道と連携した「子どもの居場所づくり応援基金」への支援活動や、「ほっかいどう若者応援★学生プロジェクト」による「学生子ども食堂」において、子どもたちが楽しみながら防災を学べる取り組みを進めてまいりました。

これからも、北海道の生協のさらなる発展と、会員の皆さまの暮らしがより良いものとなるよう、社会課題の解決に向けた活動を皆さまと一緒に進めていきたいと考えております。

引き続きのご指導ご鞭撻の程、何卒よろしくお願い申し上げます。



### 就任のご挨拶

コープさっぽろ生活協同組合  
かぶとや めぐみ  
監事 甲谷 恵 様

この度、北海道生協協同組合連合会の監事としてお仲間に入れていただきます甲谷恵と申します。37年間の道庁勤務におきまして、食の安全や地域づくりなどに携わってまいりましたが、いつも各団体、各地域の皆様のご活動に頭が下がる思いでございました。

目まぐるしく変わっていく世界情勢や私たちの周りの環境変化にアンテナを張りながら、微力ながら、道民のひとり、消費者のひとりとして、皆様とともに、より豊かで支え合える社会をめざして考えて参りたいと存じますので、ご指導のほど、よろしくお願い申し上げます。



### 就任のご挨拶

生活クラブ生活協同組合  
監事 片桐 葉子 様

このたび、生活クラブ北海道理事長として、北海道生活協同組合連合会の監事を務めさせていただくことになりました。

生協は、暮らしの中にある不安や課題を、組合員同士のつながりと協同の力で解決していく大切なしくみです。

食の安全、地域のつながり、環境、平和など、私たちの暮らしを取り巻く課題が複雑になる今だからこそ、生協の果たす役割はますます大きくなっていると感じています。監事として、道連の活動が組合員の信頼に応え、北海道の生協運動の発展につながるよう、誠実に役割を果たしてまいります。

どうぞよろしくお願い申し上げます。



### 就任のご挨拶

酪農学園大学生生活協同組合  
監事 古屋 麻実 様

このたび北海道生活協同組合連合会の監事に就任いたしました、酪農学園生活協同組合 専務理事の古屋麻実です。どうぞよろしくお願いいたします。大学生協には、社会に巣立つ一歩手前にある大学生へ協同の価値や意義を伝える重要な役割があると考えております。その実現に向け、事業活動および組合員活動を通じて実践を積み重ねてまいります。また、その取組を大学生協内にとどめず、北海道内の協同組合全体へとつなげていく視点も大切にしたいと考えています。実践の中で皆様のお力をお借りすることもあるかと存じますが、その際はどうぞよろしくお願いいたします。皆様から学びながら、誠実に努めてまいります。



### 退任のご挨拶

コープさっぽろ生活協同組合  
前監事 紺谷ゆみ子 様

2023年6月より3年間、北海道生協連の監事を務めさせていただきました紺谷でございます。

監事としては、何かと至らないことも多かったのではないかと考えているところではありますが、この間、北海道生協連の活動内容を目の当たりにして、本当に素晴らしい取り組みを実践されていると感じたところでもあります。

昨年は、国際協同組合年ということで、協同組合の意義・可能性について改めて学ばせていただきましたが、協同組合はこれからの北海道の大きな原動力になっていくという思いを強くいたしました。

これからも北海道生協連が、増々発展されることを祈念するとともに、これまでのご支援・ご協力に感謝申し上げて、簡単ではございますが退任のご挨拶とさせていただきます。



### 退任のご挨拶

北海道勤労者住宅生活協同組合  
前監事 高宮 正巳 様

2023年6月より3年間、監事を務めさせて頂き、皆さんと一緒に活動をさせて頂きましたが、今総会でその任を終え退任する事となりました。

監事として何かお役に立てたのか疑問は拭い切れませんが、とにかく道生協連役員・事務局・関係者の皆さんには大変お世話になり、改めてお礼を申し上げます。

これまでの議案審議にもあった若者応援プロジェクト・子ども食堂等、いずれの課題もその重要性や地道な活動が必要であり、誰よりも私自身が勉強させられたと思います。

昨今の混とんとする社会情勢の中、以前にも増して協同組合の役割発揮が求められ今後の道生協連活動も難しい局面が続くと思いますが、関係する皆さんが力を合わせ、難局を乗り越えていかれる事を切に願い、退任の挨拶とさせていただきます。

本当にありがとうございました。



### 退任のご挨拶

大学生協事業連合北海道地区  
前監事 田端 一徳 様

この度の総会をもちまして、北海道生協連の監事を退任させていただくこととなりました。在任中は監事として力及ばず、ご期待に十分お応えできなかったことを深くお詫び申し上げます。着任した令和5年6月はコロナ禍明けの時期で、大学内の活気回復とともに経営のV字回復を期待しておりましたが、学生生活の変化もあり十分には至りませんでした。そのような中で学生支援のあり方を模索し続け、関係の皆様のご指導とご支援に支えられながら、次世代へバトンをつなぐことができました。改めて深く感謝申し上げます。最後に、北海道生協連に集う各生協の皆様のご尽力により、生協活動が今後ますます発展されますことを心より祈念申し上げます。





# 学生が紡ぐ、新たな「食」と「防災」の広場



## ～若者応援★学生プロジェクト初の「学生子ども食堂」を開催して～

- 日 時：5月31日(日)11:00～14:00
- 場 所：札幌留学生交流センター（豊平区）
- 参加者：大人30名、子供28名、学生メンバー 12名
- 協力団体（運営・寄附・寄贈）
  - ◇札幌留学生交流センター 様
  - ◇こくみん共済 coop 北海道推進本部 様
  - ◇ホクレン農業協同組合連合会 様
  - ◇北海道労働金庫 地域共生推進室 様

私たちの学生プロジェクトは5月31日(日)、札幌留学生交流センター（豊平区）にて、初となる学生主体の企画「学生子ども食堂」を開催いたしました。単に温かい食事を提供するだけでなく、「子どもたちが楽しみながら防災意識を高める」ことをテーマに掲げ、企画から当日の運営にいたるまで、すべてを学生メンバーの手で作りました。当日の奮闘の様子と成果を、私からご報告いたします。

### テーマ決めから調理まで、すべてを学生の手で



開催にあたり、私たちは約1か月という短い期間で準備を進めてきました。何度もオンラインミーティングを開催し、参加メンバー全員の意見を取り入れながら企画を形にしていきました。その話し合いの中で、当日提供するメニューは「ミネストローネ、コールスロー、おにぎり、そして蒸しパン」に決定しました。

当日は朝9時に集合し、「調理班」と「運営レイアウト班」の2つに分かれて準備を始めました。しかし、

初めて使う施設の調理器具に戸惑ったり、経験のない約70人分という大人数の調理に想像以上に手を焼いたりしたほか、会場の装飾づくりにも時間を要し、気がつけば開始ギリギリの時間になってしまいました。食事の提供が遅れてしまうというハプニングに直面しましたが、私たちは「最初に防災ワークショップを体験していただく」形へと臨機応変にスケジュールを変更し、このピンチを乗り切ることにしました。



## 遊びながら学ぶ！キラキラ笑顔が弾けた防災体験



急遽、先行して行くこととなった防災ワークショップは、子どもたちにとって驚きと楽しさに満ちた空間となりました。

- VRゴーグルによる火災体験：こくみん共済coopさんのご協力のもと、子どもたちが最新技術を通じた臨場感のある防災学習に挑戦しました。
- 手作りホイッスル・缶バッジ：災害時に使える笛や缶バッジの制作ブースでは、子どもたちが思い

思いのデザインを描きながら、本当に楽しそうに作っている姿がとても印象的でした。

- 全員参加の防災クイズ：イベントの最後には、みんなで盛り上がる〇×形式のクイズ大会を実施し、会場は大きな歓声と笑顔に包まれました。調理の遅れで少し焦っていた私たちでしたが、子どもたちのキラキラした笑顔に何度も救われ、大きな元気をもらいました。



## 保護者の皆様からも温かい声、次なる挑戦へ

ワークショップを楽しんでいただいた後は、メンバーが一生懸命作った食事を提供しました。開催後のアンケートからも、子どもたちが防災イベントにとっても意欲的に、そして楽しそうに取り組んでくれたことが伝わってきました。また、一緒に来られた保護者の皆様からも、「蒸しパンがとても美味しかったです！今日配られたレシピパンフレットを見ながら、お家でも子どもと一緒にまた作ってみたいです」といった嬉しい声をたくさんいただき、頑張って作って本当に良かったと心から思いました。

初めての開催ということもあり、運営のあちこちでバタバタと慌ててしまった反省点もありますが、突然のスケジュール変更にも臨機応変に動き、何よりこの状況も含めて楽しんで運営してくれた学生メンバーの皆さんには感謝の気持ちでいっぱいです。今回の貴重な経験をしっかりと活かし、次回は準備の段階からもっと余裕を持ち、参加される方全員が楽しく笑顔になれるような、スムーズな運営を行っていきたいです。

支援される側から地域を「支える側」へ。これからも私たちは、子どもたちの安全な未来と地域の居場所づくりのために、一歩ずつ進んでまいります。温かいご支援をよろしくお願いいたします。

